

【地域活性化総合特区】競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

〔山梨県 南アルプス市〕

【目標】

- ・ 交流6次化による競争力と持続力のある『農業空間と地域空間』の創造・展開・継承を図る地域活性化モデルの構築

【取組概要】

- ・ 規制の特例措置や財政・金融上の支援措置を活用しながら、農産物の生産・加工・販売の一体化、農業と観光との融合、生産性や販路拡大等の「6次産業化」の創出を図るとともに、都市農村交流、移住定住情報の受発信、周遊滞在型観光の定着、自然体験や環境教育等の「交流移住策」の展開を図る。
- ・ さらに、南アルプスユネスコエコパークの玄関口である南アルプスIC周辺に、「6次産業化」と「交流移住策」のハブ機能を有する「地域資源を活用した新産業創出」を図り、参入企業と多様な地域活動との連携を促すことで、地域のブランド力を高め、地域経済を活性化させ、持続可能（サステナブル）なまちづくりを実現する。

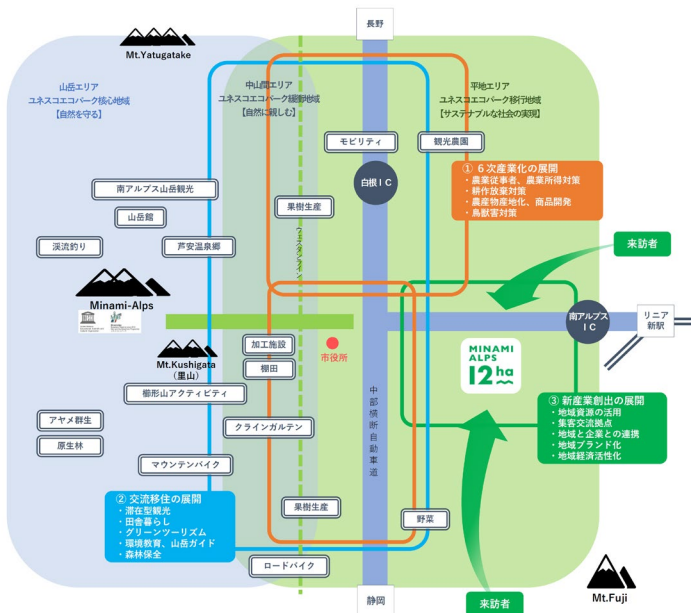
【金融支援措置（利子補給金）を活用した主な事業】

- ・ 「6次産業化」と「交流移住策」のハブ機能を有する「地域資源を活用した新産業創出」拠点の構築 これまでの活用実績：1件

【規制の特例措置を活用した主な事業】

- ・ 特産酒類（果実酒）の製造事業の特例措置により、市の特産物（ぶどう）を活かした小規模ワイナリーの参入を促し、農産物の生産・加工・販売の一体化、農業と観光との融合、生産性や販路拡大等の「6次産業化」の創出を図る。

特区の展開イメージ



新産業拠点の考え方

- 12haの目的 1. ブランド創造と経済活性化 2. 持続可能な地域へ

